

7 学校関係者評価委員会での意見など

提出用R05年度末

A 自己評価は適切である B 自己評価は概ね妥当であるが根拠資料が不足している

C 自己評価と実態との差が大きい D 自己評価方法を見直す必要がある

重点	C短期経営目標(年度末までにどのような状態にする)	具体的な方策	学校関係者による評価	
			評語	意見など
1 知 (確かな学力)	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。学習したことがよくわかり楽しく学習している児童を90%以上とする。	一人一台タブレットと学習アプリMonoxerの活用による授業改善・授業改革の研究に取組む。学習におけるICT機器・学習アプリの活用、学習状況の把握と適切な指導・支援を行う。	A 6	・昨年に比べて、一人一人がタブレットをうまく活用して学習ができているように思う
			B 1	・学年に応じたタブレットの使い方が徹底されていると思う
			C 0	・タブレットを活用した授業に積極的に取り組んでいると思います。
			D 0	・子供たちがどこまで理解してタブレットを利用できているか。個人差があるので教員がどこまでサポートできるのか
2 徳 (豊かな人間性)	自信のあるところとないところを含め、自分自身にだいたい満足している児童を80%以上とする。	良さに【気付く・見付ける・感じる】そして【伝える・認める・褒める】に年間をとおして取組み、児童の自己評価を育て高める。	A 7	・自分に満足できている子が80%以上いるというのは目標が達成されている
			B 0	・児童館などで子供と触れ合うが、積極的に話しかけてくる子供が多い
			C 0	・「自分自身にだいたい満足している児童」が教職員の皆様の取組(御努力)により増えていくと思います
			D 0	・自分の良さに気付く、自分を大切にすることの指導は大切だと思う
	自分を大切にしている児童を90%以上、友だちを大切にしている児童を95%以上とする。	相手の考えを汲み取る力、コミュニケーション能力の育成・向上のための取組を行う。(ソーシャルスキル・トレーニング、グループエンカウンター、ピアサポート等)	A 5	・自分を大切にできる児童で、自分が一番、友達が二番という考えにならないよう相手の気持ちを考え交流できているようなので評価できる
			B 2	・縦割り、異学年、ひまわり学級との交流学习に期待したい
	人と関わること・(遊び・学習・生活)が楽しいと感じる児童を90%以上とする。	縦割り班活動、学年合同授業、異学年交流学習の実施。ひまわり学級との交流(児童の交流と、教員のひまわり学級への授業参加・参観)	C 0	・「自分を大切に」「友だちを大切に」ことはとても大切なことです。これからも御指導よろしく願いいたします
			D 0	・近頃はコミュニケーション能力が低下していると思う。そのスキルを上げるためにどのような指導が必要か
	安全に気を付けて生活している児童を95%以上、困ったことや悩みがあったらだれかに話すことができる児童を80%以上とする。	安全教育プログラムを活用し、生活安全、交通安全、災害安全のすべてについて継続的に指導する。	A 3	・宝仙寺前の交差点でガードレールに座って信号を待つ児童を見た。(信号が変わり走っていったので注意できなかった)安全面の注意が必要
			B 4	・SOSの出し方は難しいので子供の変化を感じ取ってほしい ・悩みをかかえた児童が先生や友人に話せると良いと思うが、現実はどうなのか疑問に思う
		SOSの出し方に関する教育を全学年で発達段階に応じて系統的に実施する(特に長期休業日前)。全児童が教職員の誰かに話してみるという体験活動を行う。	C 0	・児童が教職員にSOSを発信しやすい環境にする取組は素晴らしいです。「児童に開放された校長室」もとてもステキです
			D 0	・項目には無いですが、校内廊下、階段でとにかく皆走っています。注意してもなかなか改善されず、児童同士がぶつかったり、ひやっとなることがあります。校内でルールを守ることが、校外で交通ルールを守ることにもつながると思います ・自然災害が多い今は、その時にどのような対応をすべきかの指導もしてほしい。安全に命を守るということ
3 体 (健康・体力)	体を動かして遊んだり運動したりすることは楽しい児童を90%以上とする。	休み時間の外遊びの奨励と体育館の開放、体力向上月間(6月、10月、2月)の実施。楽しさを実感させる工夫や声掛けに取組む。	A 7	・引き続き年間の取組を実施してほしい
			B 0	・休み時間に子供たちが楽しそうにしている
			C 0	・休み時間や放課後に校庭で元気に楽しそうに遊んでいる姿を見ると私もうれしいです
			D 0	・体育の時間に苦手なことにもしっかり取り組んで成功する、ということを見ることが多いと感じた。楽しいと思っているからこそぞだと思う
	健康に気を付けて、元気に生活している児童を95%以上とする。	心と体の関係についての体験的学習の充実(保健・心と体)。スクールカウンセラー・心の教室相談員との連携、生活指導の情報共有と全教職員の統一した支援。	A 5	・健康な子供はもちろん、不登校の子供たちにも適切な教育支援をしているようなので続けていただきたい
			B 2	・不登校の児童への対応を考えていらっしゃいますが、少し足りないかなと思います
			C 0	・学校生活だけでなく御家庭のことなど悩みを抱えている子供がいると思いますがよろしくお願いいたします
			D 0	・成長期において心と体のバランスを取るのが大変だと思うが、そのアプローチを支援してほしい
4 働き方	ライフ・ワーク・バランスを推進する。	時間外勤務の上限について月45時間、年間360時間とする。男性職員の育業等取得を促進する。定時退庁日を設定する。	A 4	・人員を確保できたらと思う
			B 1	・遅くまで職員室の電気がついているような気がします
			C 2	・時間外勤務が少しでも減り、男性職員の育業等取得がしやすい職場(学校)になれば良いと思います
			D 0	・推進されていくことを期待しております ・先生方の御苦勞を思うとバランスを取るのが大変だと思うが体に気を付けていただきたい
5 連携	教科・生活指導等において発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導の工夫を行い、一貫性のある継続的な指導を行う。	心の教育を重点とし、二中校区の学校・家庭・地域で育てたい児童・生徒像を共有し、道徳教育を中心として取組む。	A 4	・小中連携教育のねらいがどのようなものなのか。善悪の判断、礼儀、友情信頼の道徳教育に引き続き取り組んでほしい
			B 2	・二中との交流が不十分な気がします
			C 1	・私自身、道徳授業の内容をあまり把握していないので来年度は道徳公開授業を参観したいと思います
			D 0	・小中の連携がもう少し速やかに行えるようにしてほしい。行事の重なりとか。